

【駅南地区のまちづくり目標】

こや～よ！ 駅南
～みんなで つなぐ 住みやすいまち～

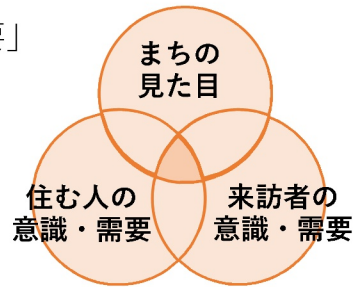
実現するために地区に合わせたルールや基準をつくることが可能

● まちを構成する 3 要素

「まちの見た目」 「住む人の意識・需要」 「来訪者の意識・需要」

右の図のように、3要素がバランスよく構成されていると、良いまちの形成へと繋がります。

ただし、住宅地と商業地でこのバランスは変化していきます。

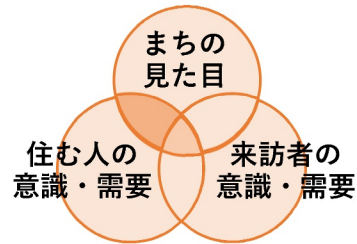


住宅地

住む人にとって、利用・滞在時間が長く快適な空間を創出することが重要であり、来訪者の需要よりも、まちの綺麗さや周辺環境の良さ等のまちの見た目や、地域コミュニティの良さなど住む人の需要が影響してきます。



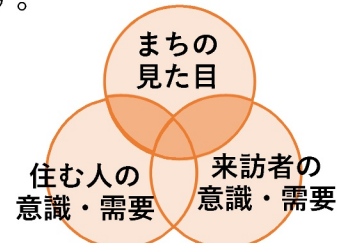
生活とまちなみが融合した住宅街



商業地

住む人に加え、駅利用者や瑞穂市への来訪者など、不特定多数の人が利用する場となるため、まちの綺麗さや来訪者の需要とのマッチングが必要です。

また、商業施設の採光や通風はそれほど重要視されませんが、大きな建物を建てる時には、住宅地への影響を考える必要があります。



ワークショップ

地区計画や紳士協定によるルールの策定、エリアマネジメント等により、まちづくりを誘導・規制していくことができますが、皆さまの考えが前提条件となります。

みなさんは、住む場合や事業を実施する際、どんなまちが良い？どんなまちは好ましくない？

【検討要素】

- 利用者：居住者・駅利用者・働く人（地区内に職場ができた場合）
- 周辺環境：JR 穂積駅（地区がホームに並行して立地）、既存住宅地、商店街
- その他：採光や通風の確保、安全性、景観、維持管理、メンテナンス

